

## 「フジの花の季節 (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

サクラの花が終わると、フジの花の季節になる。マメ科の落葉樹であるフジは、野生にも見られるが、学校や公園に「藤棚」として育てられていることが多い。棚の上に葉が繁茂するので、夏には日よけの役割もしてくれる。しかし、藤棚の美しさは、何と云っても今の時期の花が咲いている時にある。



これは、私が住んでいる大学宿舎の藤棚である。宿舎の敷地にある児童公園の片隅にあるが、毎年見事に棚一杯に花をつける。遠目には、ブドウ棚のように見える。



「藤色」とは、まさにこの色である。これだけ咲いていると、壮観としか言いようがない。

藤棚は、小学校の校庭にもよく見られる。本校にも校庭の隅にあるが、グリーンベルト(校庭を周回する、全天候のコース)の上であり、根元は小さな煉瓦の植え込みに囲まれている。グリーンベルトができる前は、たくさんの花をつけ、大きな果実(藤豆)も実ったのだが、現在は地力が弱く、あまり花をつけない。



しかし、園芸に詳しい算数の先生が、囲いの土に適度な施肥をしてくれたので、老木にもかかわらず、今年は珍しくたくさんの花をつけた。



花の房は少なく、棚の下まで垂れるように咲くのは望めない。しかし、確かに花がいくつも咲いている。これは、是非観察させたいと思った。(つづく)